

市川自然博物館

2・3月号

（通巻第54号）

だより

配慮したい
市内の野生生物

Ⅵ レッドデータブック
掲載種



△植物版レッドリスト（環境庁編）において、市内の植物としては最も危険度が高い区分（絶滅危惧ⅠB）に該当するとされたマヤラン。生育する環境も含めての配慮が望まれる。

配慮したい 市内の野生生物

VI レッドデータブック 掲載種

今年度は、市内において配慮が望まれる野生生物について特集してきました。しかし市内には、市川市という範囲とは別に、わが国全体のレベルで配慮が望まれる野生生物も生育・生息しています。今回は、国版「レッドデータブック」（絶滅のおそれのある野生生物についてまとめた本）に掲載された市内の野生生物について紹介します。

市内に生息する、絶滅のおそれのある野生動物

「日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック—（脊椎動物編）」と「同（無脊椎動物編）」（ともに、1991年環境庁編）に掲載されている種類を挙げました。区分は、「絶滅危惧」→「危急」→「希少」の順に危険度が小さくなります。

【鳥類】

1. オオタカ：危急

市内では行徳鳥獣保護区で冬季少数が見られるほか、各所で稀に見られます。

2. チウヒ：危急

行徳鳥獣保護区では、冬季普通に見られます。

3. チウサギ：希少

「希少」なのは繁殖に関してです。市内では、かつて一大繁殖地であった新浜鴨場で現在も少数の繁殖があるほかは、繁殖記録がありません。

4. オシドリ：希少

じゅん菜池公園で少数見られるほか、各所の池や江戸川で稀に見られます。

5. オオジシギ：希少

市内では渡りの時期に通過個体が見られる程度です。

6. セイタカシギ：希少

愛知県と千葉県だけで繁殖事例があり、行徳鳥獣保護区で毎年繁殖しています。冬季は江戸川放水路でも見られ、市内ではむしろ増加傾向にあるといえます。

7. コアジサシ：希少

市内では現在も繁殖事例がありますが、埋め立て直後のような広い裸地を好むので、今後も継続して利用できそうな繁殖適地は市内に見当たりません。

8. コジュリン：希 少

行徳鳥獣保護区では、冬季普通に観察されるようです。

※なお、市内で稀な記録しかない鳥は除きました。また、市内で冬季見られるカンムリカイツブリ（危急）は、青森県の繁殖集団が対象なので、やはり除きました。

【昆虫類】

1. ヒヌマイトトンボ：絶滅危惧

ただ1か所の生息地があり、市の天然記念物として保護されています。

市内に生育する、絶滅のおそれのある野生植物

「植物版レッドリスト」（1997年環境庁作成）掲載の種類を挙げました。区分は「絶滅危惧Ⅰ」（種子植物・シダ植物においてはA・Bに細分）→「絶滅危惧Ⅱ」→「準絶滅危惧」の順に危険度が小さくなるほか、評価するだけの情報が不足している「情報不足」という区分もあります。

【種子植物・シダ植物】

1. ホソバイヌタデ：絶滅危惧ⅠB

ただ1か所で採集記録（1986年）がありますが、現状は不明です。

2. マヤラン：絶滅危惧ⅠB

2か所で採集記録（1994年、1997年）がありますが、腐性ランという特性からすると、今後も安定して生育を続けるかどうかはわかりません。

3. ミズニラ：絶滅危惧Ⅱ

自生地は消滅し、保護移植した株も近年、枯れてしまいました。

4. オオアカウキクサ：絶滅危惧Ⅱ

2か所以上の自生地がありますが、いずれも水田などの不安定な環境です。

5. ノカラマツ：絶滅危惧Ⅱ

1か所の自生地があります（1997年観察記録）。

6. タコノアシ：絶滅危惧Ⅱ

2か所の自生地があります（1995年採集記録）。

7. ノウルシ：絶滅危惧Ⅱ

1か所の自生地があります（1997年観察記録）。

8. イヌノフグリ：絶滅危惧Ⅱ

1か所の自生地があります（1995年採集記録）。

9. ウラギク：絶滅危惧Ⅱ

1か所の自生地があります（1996年採集記録）。

10. フジバカマ：絶滅危惧Ⅱ

1か所の自生地（1997年観察記録）と1か所の保護移植地があります。

11. カンエンガヤツリ：絶滅危惧Ⅱ

ただ1か所で採集記録（1986年）がありますが、現状は不明です。

12. エビネ：絶滅危惧Ⅱ

2か所の自生地があります（1997年観察記録）。

13. キンラン：絶滅危惧Ⅱ

2か所以上の自生地がありますが、掘り取られることも少なくありません。

14. クマガイソウ：絶滅危惧Ⅱ

1か所の自生地があります（1996年観察記録）。

15. カワヂシャ：準絶滅危惧

2か所以上の自生地がありますが、いずれも湿地という不安定な環境です。

16. アギナシ：準絶滅危惧

ただ1か所で採集記録（1986年）がありますが、収蔵標本からは類似種オモダカとの区別ははっきりせず、誤同定の可能性もあります。

17. ミクリ：準絶滅危惧

自生地はずいぶん昔に消滅し、1か所の保護移植地があります。

18. コアマモ：情報不足

1か所の自生地があります（1996年観察記録）。

※「市川の植物」に記載があるオオアブノメ（絶滅危惧Ⅱ）は、標本を再検討した結果、別種であることがわかったので除きました。

【藓苔類】（本格的な調査をしていないので、情報のある範囲内で調べました）。

1. イチョウキゴケ：絶滅危惧Ⅰ

1か所で観察記録（1993年）があります。

【藻類】（本格的な調査をしていないので、情報のある範囲内で調べました）。

1. シャジクモ：絶滅危惧Ⅰ

確実な記録はありませんが、たぶん市内にも自生しています。

2. イノカシラフラスコモ：絶滅危惧Ⅰ

1か所の自生地があります（1996年藻類学会において報告された）。

3. カワモツク類：準絶滅危惧

1か所の自生地があります（1997年観察記録）。種類は不明ですが「レッドリスト」には8種が掲載されており、いずれかに該当すると思われます。

※市内情報は「市川市鳥類目録1986年～1991年」、「市川の植物」（ともに自然博物館発行）と、自然博物館の採集記録、観察記録に基づいています。このうち、鳥類は目録掲載の期間と場所に限った情報、他は1985年以降に限った情報によっています。

※レッドデータブック、レッドリスト掲載生物のうち、動物の他の分類群（哺乳類等）は市内には該当する種類がなく、植物の他の分類群（地衣類等）は未調査です。



街かど自然探訪

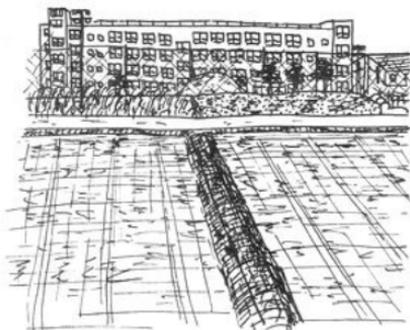
おじゃまします!

ひがしこくぶん

東国分・川沿いの田んぼ

国分川と春木川に挟まれた東国分地区には、いまでも若干の田んぼが残っています。ちょうど東国分中学校の周辺です。

春の田んぼは楽しいものです。土手では野草が咲き、水が張られるとミジンコやおたまじゃくしが泳ぎ出します。市内では田んぼを体験できる場所も稀になりました。でも、例えば整備したばかりの柔らかな畦は歩かないとか、田植え直後の田んぼには網を入れないとか、あたりまえのマナーも守りたいものです。



行徳野鳥観察舎

カモの求愛

バレンタイン・デーは「小鳥たちが愛にめざめる日」と言われます。このころから日照時間がぐんぐんのび、巣づくりの時期にむかって、鳥たちは結婚相手をさがします。

美しい繁殖羽に衣がえしたカモの雄は、目立たない保護色をした雌のまわりで、ひょこひょここと頭を上下させたり、尾羽を上げて、熱心に求愛しています。時期が遅くなるほど雄の求愛には熱が入り、しつこく追われた雌が飛び立つと、求婚者たちもぞろぞろついて飛びます。3月なかばすぎ、オナガガモが何羽か飛んでいるのを見ると、たいていは先頭の1羽

だより



だけ雌、残りはぜんぶ雄です。相手が決まらない独身の雄たちがあせっているように見えますが、カモにとってはただのゲームなのかもしれませんね。

(文・蓮尾純子)

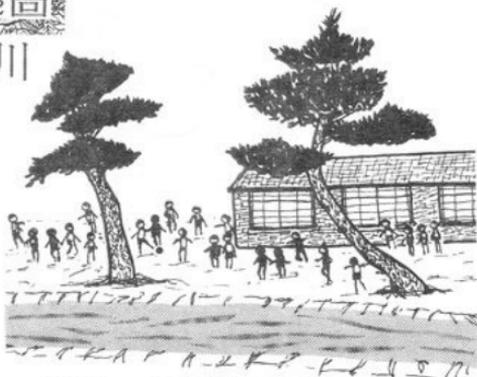
(行徳野鳥観察舎 047-397-9046)

学校の中の小川

昭和24年、現在の富貴島小のところに
は三中（一学年だけ）があり、そこに勤
務していました。学校の敷地は今と同じ
でしたが、東側の垣根から数m内側を南
北に通る流れがありました。

赴任初日、仕事が終わった後、流れの
ところへ行って見ると、流れは深さ30～
40cm位で水はとてもきれいで、流れの底
はもちろん、底の砂一つぶ一つぶが、と
んだりはねたりする様子まで見えました。
この流れの速さはわりあい速く、下の方
まで歩いてみても淀んでいるところもあ
りませんでした。

しばらくして、この流れは内匠堀りだ
と聞きましたが、調べなおしたところ、



内匠堀りの上流の流れだと判りました。

当時この流れに沿って黒松が一列に植
えられており、今では流れそのものはな
くなっていきますが、黒松は富貴島小学校
の校庭から京成の線路の近くまでそのま
ま残されています。

（博物館指導員 鎗田安之 記）



観察ノート

◆自然観察園より

- ・ルリビタキが見られました(11/27)。
- ・斜面の竹林でミンサザイを見つけました。今年、初めてです(12/17)。
- ・谷津のハンノキと斜面林の間をマヒワの群れが行き来していました(1/8)。

須藤 治(自然博物館)

- ・雪の朝、クイナが園路の下から飛び出して、対岸の斜面裾まで飛びました。脚をだらりと下げた飛翔姿勢と大きさから、クイナだと思いました(1/9)。

金子謙一(自然博物館)

◆柏井雑木林より

- ・ヤマシギが、アズマネザサの伸びた雑木林で、突然、飛び立ちました(12/6)。

須藤 治

◆南大野より

- ・ベランダに、冬の鳥ジョウビタキが、シベリヤからあいさつに見えました(12/11)。

高畑道由さん(南大野在住)

◆八幡より

- ・家の前の街路樹のクスノキに、フクロウの仲間が止まっていました。下から3本目くらいの低い枝で、15cmくらいの小さな体でした(11/11)。

水垣麻里子さん(八幡在住)

※大きさなどから見てオオコノハズクと思われま。

◆江戸川より

- ・河川敷で、カラスに驚いて飛び立ったオオタカ成鳥1羽を見ました(11/15)。
- 根本貴久さん(菅野在住)

◆国府台より

- ・アカマツの雑木林で、アカマツの樹冠部に6羽のキクイタダキを見つけました。メジロとの混群でした(12/5)。

須藤 治

◆じゅん菜池公園より

- ・カモの群れの中にヨシガモのオス1羽が混じっていました。エクリプス羽がほとんど終わり、頭部の緑が鮮やかでした。越冬しそうです(11/1)。

◆堀之内貝塚公園より

- ・イカル1羽が美しい声で盛んにさえずっていました(11/30)。

◆小塚山市民の森より

- ・エナガ4羽の群れを見ました。たいへん久しぶりです。何年ぶりか定かではありません。林を移動する際、ヒガラやキクイタダキと混群をつくっていました(12/6)。

以上 根本貴久さん

◎冬の気圧配置が安定しない暖冬です。そのことが、年末は寒い日が少ないことにつながりましたが、年明けには、春型の大雪を2度も降らせました。

🎒 3・4月の行事案内 🎒

🌿 自然観察会

- ・親子向けコース…親子で楽しく身近な自然に親しみます。申込み先着10組。
(小さなお子さん連れでの参加もどうぞ)
- ・一般向けコース…身近な自然をわかりやすく解説します。申込み先着20名。

テーマ	月日	コース名	時間	場所	受付開始日
成田層と市川砂層	3月14日(土)	親子コース	午前 9時30分	大野町 ＼ 下貝塚	2月15日～
	3月15日(日)	一般コース			
春の植物	4月11日(土)	親子コース	午前 11時30分	堀之内 周辺	3月15日～
	4月12日(日)	一般コース			

📄 申込み方法

往復ハガキに参加したい行事名・コース名・参加者全員の住所・氏名・年齢・電話番号・返信のあて先を書いて、受付開始日(消印)以降に自然博物館までお申込みください。

📖 『博物館だより』 定期購読者募集 📖

「博物館だより」を定期的に読んでみませんか！

送料分の切手をお送りいただければ、年6回発行の「博物館だより」を郵送いたします。下記の要領で、博物館までお申込みください。4-5月号より、お送りします。

※ 申込み方法 ※

氏名、住所、電話番号を記入し、送料分の切手(90円切手1枚と80円切手5枚)を同封の上、自然博物館まで封書でお申込みください。

※臨時休館のお知らせ

館内整備のため

2月24日(火)

～27日(金)

は臨時休館いたします。

市上市川自然博物館だより
第9巻 6号 (通巻第54号)
発行日/平成10年2月1日 (偶数月発行)
編集・発行/ 市上市川自然博物館
〒272-0801 千葉県市川市大町 284番地
☎ 047(339)0477
<http://www.city.ichikawa.chiba.jp/shisetsu/haku/shizen.htm>